

安静時呼吸数のデータ精度について

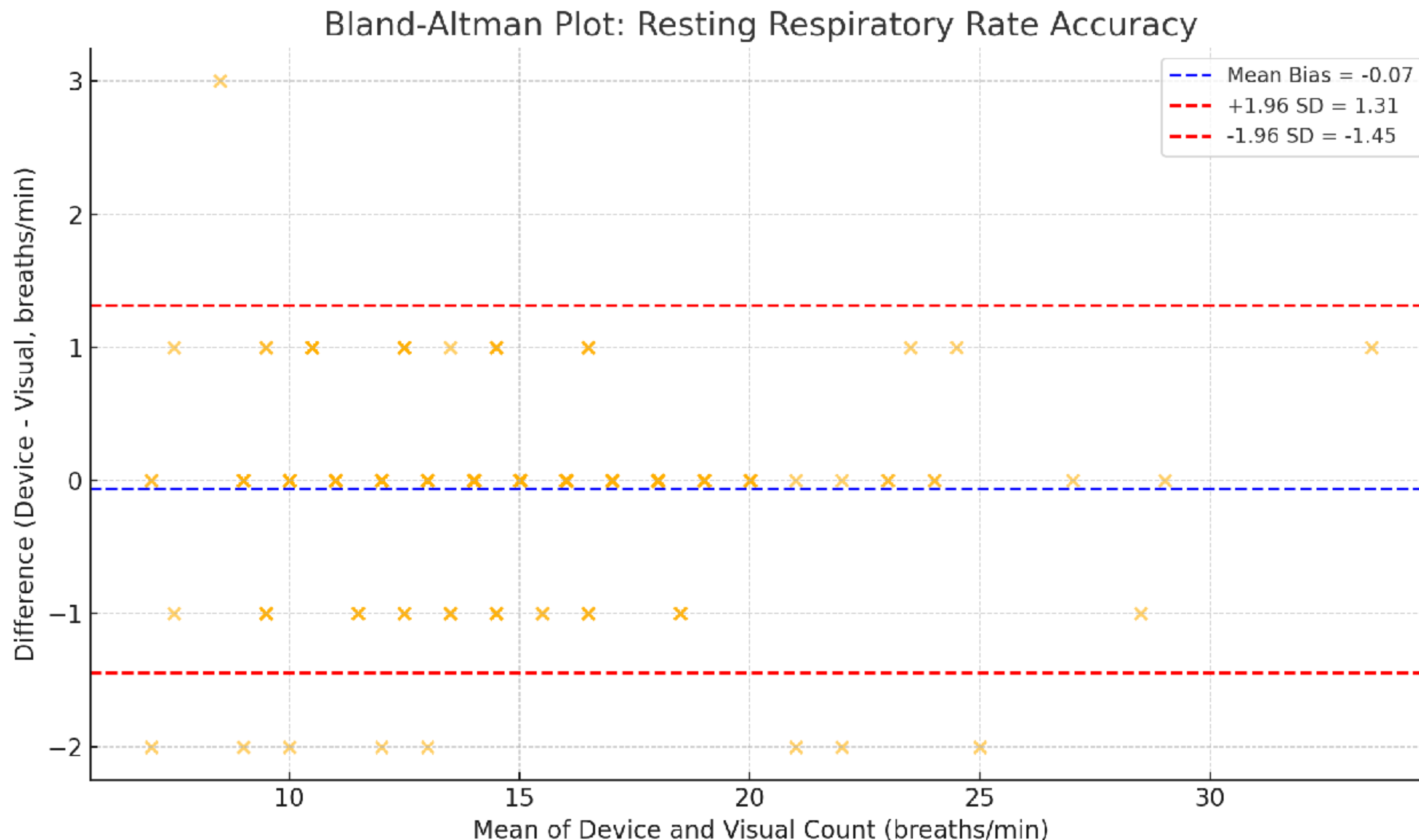
安静時呼吸数についてはBland-Altman解析の結果、デバイスの測定値は目視評価と平均0.3回/分の誤差(95%限界：-1.5~+2.1回/分)であり、呼吸数の増減※による誤差の傾向は認められなかった。本デバイスは安静時呼吸数の信頼性あるモニタリングに有用である可能性を示唆

※安静時呼吸数範囲8~38回に置いて

デバイスによる呼吸数の測定精度を評価するため、胸郭運動を記録した動画を用いた視診をゴールドスタンダードとし、両者の測定値を比較した。

各測定データにおいて、デバイスと視診の差（絶対誤差および相対誤差）を算出し、呼吸数を5回/分ごとのレンジに分類して誤差の平均値および標準偏差を求めた。

さらに、測定値の一致度を視覚的に評価するため、Bland-Altman解析を実施した。測定値の平均に対する誤差（デバイス値 - 視診値）をプロットし、平均誤差（バイアス）と95%限界（平均 \pm 1.96標準偏差）を算出した。



参考：2024年9月開催日本獣医学会での学会発表の様子

演題発表情報



地球規模課題に
挑戦する獣医学



第167回日本獣医学会学術集会

会期	2024年9月10日(火)~13日(金)
司宰・会場	帯広畜産大学
学術集会長	古林与志安 (帯広畜産大学)

講演情報

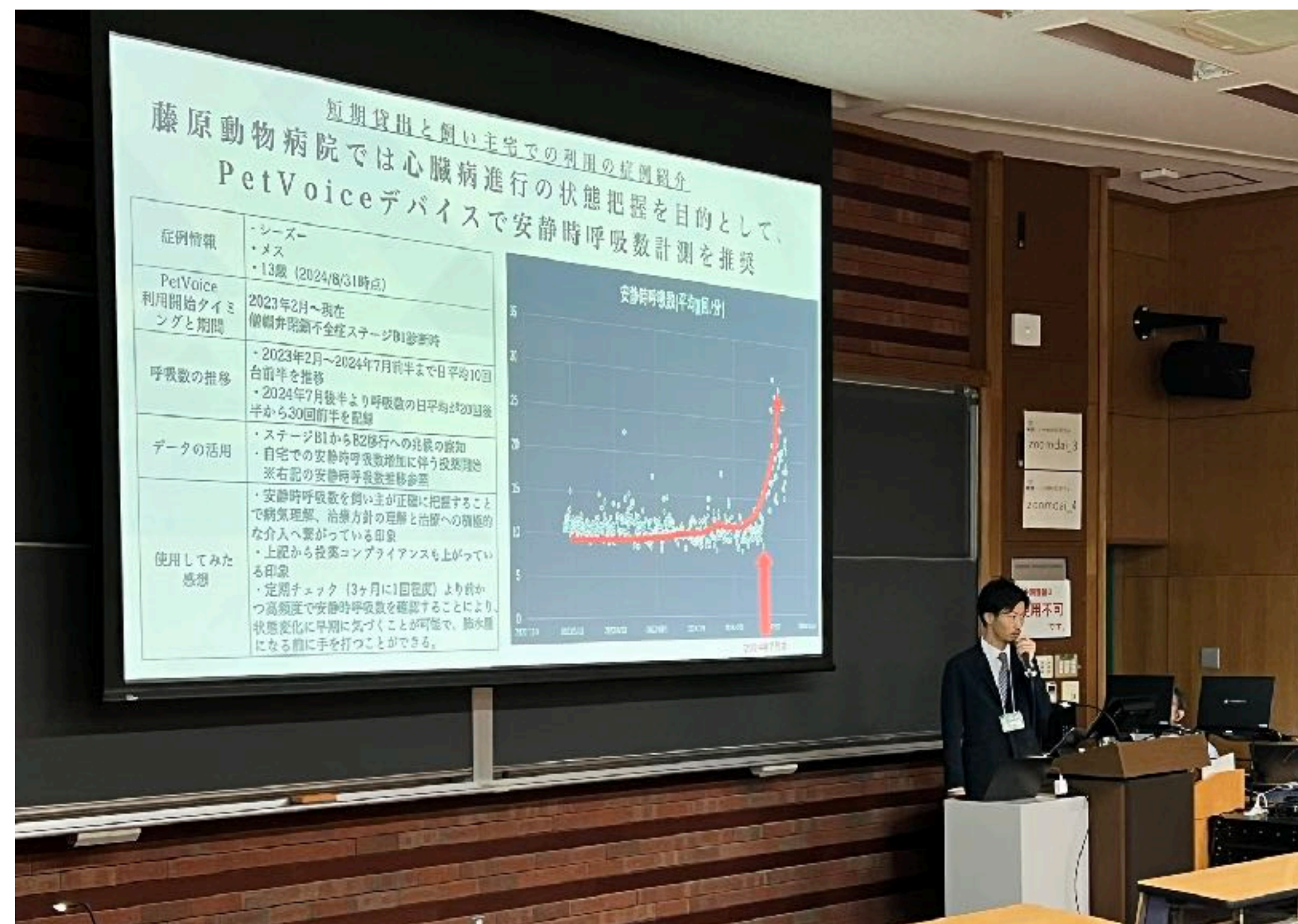
一般演題 | 一般演題：K. 日本実験動物医学会
[日本実験動物医学会一般演題1](#)
 日 2024年9月12日(木) 11:00 ~ 11:50 会 第9会場(31番講義室)

🕒 11:20 ~ 11:30

[KG-03]
PetVoiceを用いた実験動物（ビーグル）の一般状態モニタリング

○桑田 千春¹、松岡 美帆¹、大島 秀敏¹、深田 篤²、大城 啓吾²、三井田 宏明¹、土屋 由美¹ (1. 第一三共株式会社 安全性研究所、2. PetVoice株式会社)

ランチオンセミナー発表の様子



発表者：
 岐阜動物医療センター 藤原 智宏 獣医師
 第一三共株式会社 桑田 千春 獣医師
 株式会社PetVoice 深田 篤